



## ■国公立大入試 3月14日現在74名合格！ 11年ぶり一橋大合格も

◆2019年度大学入試も最終盤に入り、本日(20日)からの公立大中期日程、国公立大後期日程の合格発表を残すのみとなりました。28日以降、国公立大学の追加合格発表がありますが、「前期」終了時点での結果を報告します。◆見出しにも載せましたように、前期終了時点で、74名合格という結果がでています。そこには、2008年度以来、11年ぶり本校生2人目の一橋大をはじめ、東北大(旧7帝大の一つ)にも合格者がでました。筑波大も8名合格しています。北は北海道教育大学函館校から、西は香川県立保健医療大学まで吉報が届いています。◆地元の茨城大は13名となりました。また、電気通信大や東京学芸大、東京農工大、東京海洋大など、都内の難関国立大にも合格者を出しました。関東地方では、宇都宮大、群馬大、埼玉大に合格者がでました。地方では、新潟大、信州大、静岡大などに合格者がでました。◆公立大では、埼玉県立大が3、横浜市立大が3、茨城県立医療大が2、秋田県立大が2、前橋工科大が2、長岡造形大が2と多くの合格者が出ています。横浜市立大は、一昨年が4、昨年が7、今年が3と文系学部を中心に本校生の合格者が多い大学です。◆合格した先輩に共通していたのは次の諸点です。①授業中心。「予習→授業→復習」の学習サイクルを崩さない。②基礎を大切にする。土台をつくってから難度の高い問題に進む。③「志望校合格」に強い信念をもち、努力を積み重ねることができる。④柔軟性。客観的な視野をもち、先生や保護者のアドバイスに素直に耳を傾けることができる。⑤考査や模試は解き直しや振り返りをていねいに時間をかけて行う。1・2年次生の皆さんも一橋大や東北大など難関大へ積極的にチャレンジしてほしいと思います。



### 【国立大学】

No.	大学	学部	学部計	大学計
1	北海道教育大	教育	1	1
2	室蘭工業大	理工	1	1
3	東北大	医	1	1
4	秋田大	国際資源	1	2
5		理工	1	
6	山形大	工	2	3
7		理	1	
8	福島大	行政政策	1	2
9		農	1	
10	茨城大	教育	2	13
11		工	6	
12		人文社会	3	
13		農	2	
14	筑波大	社会・国際	1	8
15		人文・文化	4	
16		人間	2	
17		理工	1	
18	宇都宮大	工	1	1
19	群馬大	医	1	1
20	埼玉大	教養	1	5
21		工	3	
22		理	1	
23	電気通信大	情報理工	4	4
24	東京海洋大	海洋工	1	1
25	東京学芸大	教育	1	1
26	東京農工大	工	1	1
27	一橋大	経済	1	1

No.	大学	学部	学部計	大学計
28	新潟大	教育	1	3
29		法	1	
30		理	1	
31	信州大	工	1	1
32	静岡大	工	1	1
国立大 計				51

### 【公立大学】

No.	大学	学部	学部計	大学計
1	公立はこだて未来大	システム情報科学	1	1
2	青森県立保健大	看護	1	1
3	秋田県立大	システム科学技術	1	2
4		生物資源科学	1	
5	山形県立保健医療大	保健	1	1
6	会津大	コンピュータ理工	1	1
7	茨城県立医療大	保健医療	2	2
8	群馬県立県民健康科学大	看護	1	1
9	高崎経済大	経済	1	1
10	前橋工科大	工	2	2
11	埼玉県立大	保健医療福祉	3	3
12	首都大学東京大	人文社会	1	1
13	横浜市立大	国際教養	2	3
14		国際商	1	
15	長岡造形大	造形	2	2
16	長野大	企業情報	1	1
17	香川県立保健医療大	保健医療	1	1
公立大 計				23

## ■私立大入試 早慶上理+GMARCH=59名(前年比+19)合格! 「定員管理厳格化」の動き続く

◆私立大学の合格者数は3月1日現在で641名です。今後、3月入試や追加合格などが加わりますので、まだ確定数を出すことはできません。最終的な合格数は4月に発表します。2017・2018年度(一昨年・昨年)入試では、国の方針である「定員管理厳格化」を受けて合格者数削減の動きが目立ちました。2019年度(今年)入試もその傾向は変わることなく、私立大入試は全体的に難化しました。2020年度(来年)入試はセンター試験の最終年度で受験生、保護者ともに安全志向が今年以上に強まると予想されるため、私立大入試の難化は避けられないと思われます。◆2019年度(今年)入試では、2つの特徴が見られました。第一に難関私大敬遠の動きです。私大志願者数は2018年度2,879,865人から2019年度2,969,861人へ89,996人増加しています。しかし、首都圏の難関私大である早慶上理+GMARCH(早稲田・慶應義塾・上智・東京理科+学習院・明治・青山学院・立教・中央・法政)の志願者数は、中央大の2学部新設や東京理科大の定員増などにもかかわらず、2018年度727,376人から2019年度700,361人へ27,015人減少しています。一方で、日東駒専(日本・東洋・駒澤・専修)の志願者数は、2018年度319,672人から2019年度325,788人へ6,116人増加しています(3月8日現在、河合塾調べ)。受験生の安全志向の影響で難関大を敬遠し、その次のグループに志願者が集まるといった現象は近畿圏でも起きています。第二に、これまで続いた「文高理低」の傾向に歯止めがかかり、情報系の人気が際立ったことです。◆本校の状況を見ますと、早慶上理+GMARCHは昨年の40から59と合格者数を19増やし、健闘しています。しかし、日東駒専は99から88と11減らし、成成明國武(成城・成蹊・明治学院・國學院・武蔵)も42から32と10減らしています。私立大は3教科型の入試が多く、3教科の中で1教科でも苦手教科があると、合格を手に入れることは厳しくなります。3教科揃って力が発揮できるようにしたいものです。◆本校生には「チャレンジ校ー実力レベル校ー合格確実校」という受験パターンが多く見られます。一方で「合格確実校」だけ受けたり、「実力レベル校」以上だけを受験する人も見受けられます。3年11月までの模試結果推移をよく分析して、伸びているようなら、2月までの3か月で、更に成績アップの可能性があることでチャレンジする意味は十分ありますし、逆に伸び悩んでいる場合は慎重にならなければなりません。私立大入試日程は「易→難」の順に組まれていますので、「合格確実校」で合格通知を受け取ると、気分も楽にチャレンジ校を受験できるようになり、思いもかけぬ朗報が舞い込むこともあります。入試は実力勝負ですが、しっかりとした戦略を立てることで、実力以上の結果を得ることも十分可能です。

大学	合格数	前年比
東洋大	35	-11
日本大	24	-2
千葉工業大	23	-4
東京電機大	21	-3
昭和女子大	18	+7
獨協大	17	-15
駒澤大	15	0
専修大	14	+2
共立女子大	13	+6
東海大		+9
常磐大	12	+9
法政大		-3
明治大		+4
芝浦工業大	11	-1
成城大		+4
成蹊大		+2
東京家政大		+9
目白大		+6
立教大		+8
立正大		+6
文教大	8	-21
国際医療福祉大	7	-3
神田外語大	6	-8
東京理科大		0
日本女子大		+4
青山学院大	5	+1
中央大		+3
上智大	4	+4
東京女子大		+4
國學院大		-10
立命館大	3	+3
学習院大	2	0
聖心女子大		+2
明治学院大		-7
慶應義塾大	1	+1
早稲田大		+1

## ■たくさんの寄贈、ありがとう! 今年も先輩たちが「赤本」を君たちに残してくれました

受験を終了した先輩たちが後輩のためにと、自分が購入した「赤本」を寄贈してくれました。進路指導部の限られた予算では、全ての赤本を揃えることが難しく、私立大では受験者数の多い大学のみ1冊ずつしか購入できません。1冊しかないために、いつも貸出中になって利用することもままならなかったこともありました。そこで、卒業生に使わなくなった赤本を置いていってくれるよう頼みましたら、毎年たくさん寄せられるようになりました。中には、「自分は受験失敗したけど、後輩には頑張って欲しいから」と言って置いていってくれた先輩もいます。そういった先輩の気持ちを汲み、皆さんも大切にそして大いに利用してください。